

Sports Fukushima

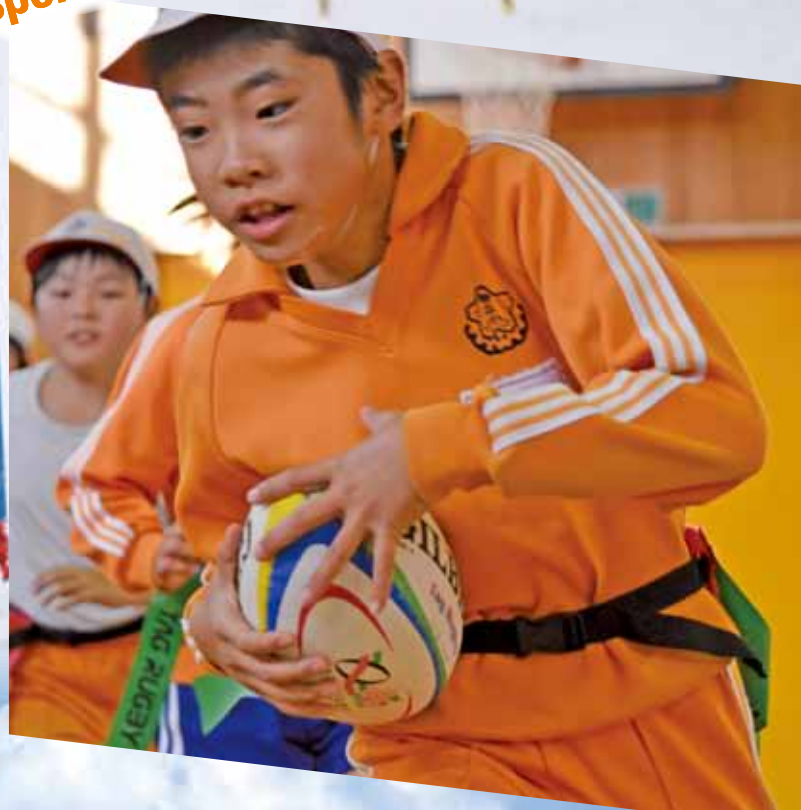
スポーツふくしま

43
2020.3

(公財)福島県体育協会 〒960-8043 福島市中町8番2号 福島県自治会館6階
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971



みんなで
スポーツを!
Let's play sports together!



今こそSport in Lifeの実現を

～東京2020オリンピック競技大会とその先にあるものを見据えて～

スポーツふくしま43号を発刊するにあたり、本協会を代表して挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては日頃から本県の体育・スポーツの普及・推進並びに本協会の諸事業に多大な御支援・御尽力をいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

昨年5月に平成から令和へ改元が行われ、令和2年となった今年本協会は発足から90年目の節目を迎えます。これまで先人が築いた歴史と伝統をもとに、更なる飛躍を目指して勇猛邁進していく所存です。

さて、昨年行われた令和初となる第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」では、本県選手団の素晴らしい活躍が見られ、前回を上回る天皇杯39位、皇后杯36位という成績を収めることができました。競技ごとに目を向けると、陸上競技（少年男子B3000m）で藤宮歩選手、トライアスロン（成年男子）で鋤崎隆也選手、ウエイトリフティング（成年男子）で近内三孝選手の3名の優勝を筆頭に、20競技において各個人・団体で入賞を果たすなど、選手一人一人の頑張りと活躍が光りました。

また、今年開催されました第75回冬季国体「氷都新時代！八戸国体」及び「とやま・なんと国体2020」でも、スケート競技（少年女子スピード1500m）の安田彩夏選手の5位や、スキー競技（成年女子Bクロスカントリー）の菅井千穂選手の4位など延べ8種目で入賞し、冬季国体終了時点で天皇杯24位・皇后杯16位となり、幸先の良いスタートを切ることができました。これらの活躍もひとえに、各加盟競技団体をはじめとする指導者・選手及び関係者の皆様の並々ならぬ御努力の賜であり、加えて県民の皆様の絶大なる御支援によるものと深く感謝申し上げます。鹿児島県で開催される「燃ゆる感動かごしま国体」でも、各競技団体・指導者・選手、そして県民の皆様と一丸となり「チームふくしま」で頑張ってください。

次に、日本中が待ちに待った世界最大のスポーツイベントである東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催です。日本では、1964年以来56年ぶりに、さらに福島県では野球競技とソフトボール競技が初めて開催されます。本県関係の選手は、すでにレスリング競技の皆川博恵選手やカヌー競技の宮田悠佑選手の出場が内定しておりますが、様々な競技で多くの選手がオリンピックの大舞台を目指し、まさに今闘っております。本協会では、ふるさとに愛着心を持ち、ふるさとに勇気と希望を与え、世界の舞台で活躍する選手を育てようと2016年度から『ふくしまから世界へ！「ふくしま」アスリート」強化支援事

業』を実施して参りました。その集大成となるべく、一人でも多くのふくしまアスリートが東京2020大会に出場し、燦然と輝く活躍を切に願っております。さらに、前回の東京オリンピックの10名を超える選手の出場にも大いに期待しております。

ところで今日、世論で話題に多く上がっているのが東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を終えた後のレガシー（遺産）についてです。スポーツ庁では、「する」「みる」「ささえる」スポーツの参画人口を拡大し、「一億総スポーツ社会」の実現を目指し、スポーツを通じた国民の健康増進などに取り組んでいます。しかしながら、平成30年度にスポーツ庁が行った「スポーツの実施状況等に関する世論調査」によると、日本国内で、週1日以上運動・スポーツをする成人は55.1%、スポーツに無関心である層が14.8%存在しているという調査結果が出ました。また、福島県内に目を向けると、県が昨年6～7月に県内59市町村に住む20～79歳の3千人を対象に行った「運動・スポーツに関する実態調査」では、運動を「全くしない」と回答した割合が全体の48.5%に上っております。本協会ではこれまでも、子どもの体力・運動能力の向上、高齢者の健康の保持増進などにつながるスポーツ活動の推進に全力を注いできたところではありますが、これらの数値を踏まえ県民のスポーツ活動が活発であると言い切れないところがあります。そこで東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に、すべての県民がスポーツに親しむことができるような社会の実現のために、県や市町村、競技団体、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、企業、医療関係団体など、関係団体全ての皆様と一体となり、「オールふくしま」で今後もスポーツの振興を推進して参りたいと考えております。

終わりに、現在、世界規模で猛威を振るっている新型コロナウイルスの影響で、各種スポーツ大会や文化イベントの中止を余儀なくされ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催も延期することが決定されました。この事態が早急に終息し、完全な形で大会が実施できますことを心から祈念するとともに、甚だ微力ではありますが、本協会の活動が皆様の「Sport in Life（生活の中にスポーツを）」の実現の一助になれるよう努力して参ることをお誓いし、冒頭の挨拶とさせていただきます。



公益財団法人福島県体育協会
会長 須佐 喜夫

も

P1 巻頭言

く

P2 第75回 国民体育大会冬季大会成績

じ

P3 第75回 国民体育大会冬季大会活躍選手と監督の寄稿

P5 令和元年度 公益財団法人福島県体育協会 表彰式

P7 ふくしまスポーツキッズ発掘事業

P9 ふくしまゴルフプロジェクト・ふくしまラグビー交流事業

P10 公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチ1・コーチ2養成講習会
スポーツ医事・トレーニング相談事業

P11 令和元年度 福島県スポーツ指導者研修会
アンチ・ドーピング教育・啓発事業

P12 ふくしま広域スポーツセンター
フォローアップセミナー

P13 一般社団法人楢葉町スポーツ協会

P14 賛助会員名簿・編集後記

【表紙写真説明】

第75回国民体育大会冬季大会 右上：クロスカントリー競技（菅井千穂選手）
左上：スケート競技（安田彩夏選手）
左下：アルペン競技（網代慈子選手）
ふくしまラグビー交流事業 右下：タグラグビー出前講座

第75回 国民体育大会冬季大会成績

① 参加状況

福島民友新聞掲載

区 分		会 期	開催地	団 長	参 加 競技数	派遣人数			
大 会						役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケート競技会 アイスホッケー競技会	R2.1/29(水) ～2/2(日)	青森県 八戸市 三戸市	佐藤 憲保	2	11	3	31	45
	ス キ ー 競 技 会	R2.2/16(日) ～2/19(水)	富山県 南砺市 富山市	鈴木 安一	1	10	8	41	59

② 競技成績

大 会	区 分	天 皇 杯				皇 后 杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順 位	競技得点	参加得点	得点合計	順 位
スケート競技会		10点	10点	20点	26位	10点	10点	20点	21位
アイスホッケー競技会		0点	10点	10点	12位	—	—	—	—
ス キ ー 競 技 会		13点	10点	23点	12位	11点	10点	21点	8位
合 計		23点	30点	53点	24位	21点	20点	41点	16位

③ 入賞状況

●スケート競技 競技得点 10点 天皇杯 26位 皇后杯 21位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
少 年 女 子	スピード 1500m	5	4	安田 彩夏	郡山商業高等学校 3年
	スピード 1500m	8	1	清水 凜	安積高等学校 2年
	スピード 3000m	7	2	安田 彩夏	郡山商業高等学校 3年
	スピード 2000mR	6	3	遠藤 眞夏	郡山商業高等学校 3年
				秋山 めぐ	郡山商業高等学校 2年
				清水 凜	安積高等学校 2年
				安田 彩夏	郡山商業高等学校 3年

●スキー競技 競技得点 13点 天皇杯 12位 皇后杯 8位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成 年 男 子 A	ジャイアントスラローム	7	2	岡野 大我	東海大学 3年
成 年 女 子 B	ジャイアントスラローム	5	4	網代 慈子	猪苗代中学校 教員
成 年 女 子 B	クロスカントリー	4	5	菅井 千穂	猪苗代スキークラブ
成 年 女 子 B	クロスカントリー	7	2	栗原 訓子	猪苗代中学校 教員



スキー競技 結団式



スケート競技 結団式



アイスホッケー競技 結団式

とやま・なんと国体を終えて

スキー競技 猪苗代中学校教員 栗原 訓子

このたび、第75回国民体育大会冬季大会において、成年女子Bクロスカントリーで7位に入賞をすることができました。今大会出場にあたり、多くの皆様から多大なご支援とご協力をいただき心より感謝申し上げます。

私は中学3年生の頃から国体に出場し、社会人1年目までの9年間の中で入賞することができませんでした。9位や11位と、入賞まであと少しのところまで届かず、毎年悔しい思いをしていました。そんな思いを抱え、さらに3年ぶりの競技復帰ということもあり、不安な気持ちで今大会に出場しました。しかし、10回目のチャレンジでようやく入賞をつかみとることができ、とても嬉しかったです。また、同僚の網代慈子先生や、小学校から切磋琢磨してきた菅井千穂さんと一緒に入賞することができ、とても思い出深い大会にもなりました。ここまでスキーを続けてきて本当によかったと思っています。

今シーズンは、例年ない雪不足のため、練習場所の制限、各種大会のコース変更や中止など、選手やコーチ、大会関係者にとって頭を悩ませるシーズンとなりました。今大会も、一時は開催が危ぶまれたこともありましたが、しかし、大会役員やボランティアの方々の尽力により、無事に開催することができ、改めて多くの人たちに支えられて大会が成り立っていることを実感しました。大会関係者の皆様には本当に感謝いたします。

今後はこれまでと同様に、ジュニア選手の育成に努めていければと考えています。その中で私自身がスキーを通して感じた「チャレンジし続けることの大切さ」や、「支えてくださる方々への感謝の気持ち」、「スキーの楽しさ」などを伝えていきたいです。そして、福島県の競技力向上、スキー人口の増加についても考えながら日々努力していきたいと思います。

応援ありがとうございました。



怪我からの復帰

スキー競技 東海大学 岡野 大我

私は高校1年の時に左肩脱臼。高校2年の時に右膝前十字靭帯断裂。高校3年の時に右膝前十字靭帯再断裂。大学1年の時に右膝前十字靭帯再々断裂をしました。昨年、雪上でシーズンを終えることができ少し安心しましたが、それ以上に何も結果が出せなかった悔しさが勝りました。「絶対に結果を出す。」という想いで夏の練習に取り組みました。天堂鍼灸総合治療院鍼灸サロンの工藤さん、金子さんのもと、自分を根本から鍛え直し、今シーズン雪上に立ちました。

今回の国体では、昨年の土橋銀平さんが獲得してくれたスタート順に感謝するところから始まりました。雪不足に加え気温も高く、早くスタートした方が圧倒的有利だった為本当に助けられました。

そして「チームふくしま」の方々の激励の言葉やサポートには本当に頭が上がりません。昨年は復帰の年というもあり、不安があり少しプレッシャーに感じたりしましたが、今回は自分を奮い立たせるきっかけとなり、終始気持ちを切らすことなくスタートに立てました。しかし国体という大きな舞台でどこか無意識に緊張していたのか、体が思うように動かず、自分の理想の60%くらいの仕上がりでゴールしました。そこからは本当に願うばかりでしたが、なんとか入賞することが出来て、「チームふくしま」の方々やビーグランの皆さんに少し恩返し出来たかなと思いました。

しかし私は貪欲である為ひと安心はしましたが、これで満足はしてはいけなと考えています。来年の国体はもちろん、各種大会で結果を残してさらなる飛躍を目指します。勝手ではありますが、さらなる飛躍にむけ皆様から応援していただければ幸いです。



多くの方々への感謝を込めて

スキー競技 猪苗代スキークラブ 菅井 千穂

私にとって今回の国体は、3年ぶりの出場、そして成年女子Bとしては初めての参加でした。この大変な雪不足の中、たくさんの方々のおかげによって開催された「とやま・なんと国体2020」において、福島県の代表として出場し、4位入賞を果たすことが出来たことを本当に嬉しく思います。レースに出場し、このような結果を得ることが出来たのも、福島県体育協会の皆さまをはじめ、サポートをしてくださったスタッフの皆さま、そしてパワーの源となる応援をしてくださった多くの方々のおかげであると思っています。心より感謝申し上げます。

福島県代表としては私にとって初めての入賞でした。入賞は狙っていたものの、現役引退からのブランクや雪上練習の少なさによる不安は大きく、正直満足できるような練習を積んで大会をむかえられたわけでもありませんでした。しかし、限られた時間の中で出来る限りコンディションを整え、今出せる力を全て出し切った滑りが出来たと思います。レース中、辛いときには応援して下さる方々の顔を思い出し、踏ん張ることが出来ました。福島県に貢献したい気持ちが強かったので、少しでも今回の結果で恩返しできていたらと思います。

今後ともスキーを続けることの楽しさや勝利の喜びを伝えながら、福島県のクロスカントリー競技の発展に携わっていかれたらと思っています。



「チームふくしま」の絆で、皇后杯8位入賞

スキー競技 猪苗代中学校教員 網代 慈子

第75回国民体育大会とやま・なんと国体において、福島県選手団をはじめとする役員やコーチ、選手の皆様、所属先である檜枝岐スキークラブ、そして勤務先である猪苗代中学校の先生方のご支援、ご協力のおかげで2年連続の5位入賞を果たし、皇后杯8位入賞に貢献することができました。心より感謝申し上げます。

私が出場している成年女子Bでは、ワールドカップの舞台で戦っている選手や、実業団に所属し全日本選手権で上位に入賞した選手が多数出場しており、ハイレベルな戦いが繰り広げられています。私はその選手たちと競い合えるかどうか、不安な気持ちを抱きながらシーズンを迎えました。また、今年は深刻な雪不足の影響で、どの選手も満足な練習が出来なかった苦しいシーズンになったと思います。しかしながら、福島県では予選会や県内での強化合宿を行えたことで、私の不安な気持ちは解消され、万全状態でスタート台に立つことが出来ました。大会運営や練習環境の確保に際して、各スキー場のご協力やコーチ・役員の方々のご尽力があったからこそこの入賞だったと実感しております。

スキー競技をするためには、自分ひとりだけではなく、多くの方々の力が必要です。スキー場のコースが整備されていること、リフトが運行していること、コース上の安全が守られていること、スキーの道具が全て揃っていること、そして、家族やコーチ、周りの皆さんが応援してくれていることなど、一つ一つのことを当たり前だと思わず、改めて感謝することができたシーズンとなりました。

今後も感謝の気持ちを忘れることなく、自己の競技力向上や小中高生の育成に力を入れ、「チームふくしま」のさらなる団結と得点に繋げていきたいです。そして、福島県の皆様に元気を、そして全国に元気な福島を発信できるよう引き続き邁進してまいります。



八戸国体を終えての成果と課題

アイスホッケー競技 コーチ 笠原 裕二郎



八戸国体の結果は1回戦対石川県は3-1で勝利しましたが、2回戦の対埼玉県では2-13で敗戦し、目標としていたベスト8進出することができませんでした。アイスホッケー競技の福島県代表の選手構成は関東、関西の大学に通う学生と県内で仕事をしている社会人で構成されているため、直前までメンバーが全員揃って練習することが厳しい環境下にあります。従って、チームシステムの浸透をどのように進めるかが一つの課題でした。

課題をクリアするために今年度新たに取り組んだことが、SNSの活用です。

LINE、TeamHubというアプリを活用し、チームシステムの資料を共有、及び練習試合等を行った際は、ビデオフィードバックをSNS上で行い、遠方の選手へも内容の共有を行いました。今大会も初戦の石川県戦までに一度も全員揃って練習をすることができませんでしたが、チームシステムの浸透を図れたことにより、初戦は福島県の規律あるプレーを実行することができ、勝利を収めることができました。2回戦は格上の埼玉県ではありましたが、1Pまではチームシステムもはまり、1-1のイーブンで試合を運ぶことができました。しかし、欠場選手もいたこともあり、後半体力が落ち始め得点を重ねられてしまい、目標達成には至りませんでした。

今大会を通して、今までの課題であったチームシステムの浸透の部分はSNSを活用することで一定の成果を得ることができました。来年度は今回浮彫になった体力の部分や夏場のトレーニングを含め取り組みを強化しベスト8以上の結果を残せるようにアプローチをかけていきます。福島県をはじめ関係の皆様方の期待に添えるよう取り組みを強化して参りたいと思います。引き続き、ご支援の程よろしくお願いいたします。

八戸国体を終えて

スピードスケート競技 郡山商業高等学校 安田 彩夏



私は、第75回国民体育大会において少年女子1500m5位、3000m7位、2000mリレー 6位と3つの種目で入賞することができました。

中学校3年生で初めて国体に出場した時は、まず予選を通過するというに精一杯で、自分の力を十分に発揮することができませんでした。しかし、幾つものレースに出場し経験を重ねることで、自分からポイントを取りに行くという強い気持ちを持ってレースに挑む事もできるようになり、今回、1500mで5位を獲得できたことは、私にとって大きな自信となりました。

このような結果を出すことができたのも、福島県体育協会や福島県スケート連盟の皆様、指導にあたってくださった先生方などの大きな支えや応援があったからこそだと思います。

来年は大学生になりますが、また日々練習に励み、成年枠で貢献できるように力を身に付けていきたいと思っています。たくさんの応援、ありがとうございました。



アイスホッケー 成年男子



スピードスケート 2000mR



クロスカントリー 栗原訓子選手



スペシャルジャンプ 渡部大輝選手



ジャイアントスラローム 岡野大我選手



スケート 清水凜選手



クロスカントリー 栗原訓子選手(左)・菅井千穂選手(右)

令和元年度 公益財団法人福島県体育協会 表彰式

令和元年度公益財団法人福島県体育協会表彰式は、1月15日に福島市のウエディングエルティにて執り行われました。

式では各賞ごとに受賞者の呼名後、内堀雅雄名誉会長、須佐喜夫会長より代表者に表彰状が授与されました。受賞者を代表して特別賞を受賞された近内三孝選手(ウエイトリフティング)より謝辞がありました。

表彰式終了後には懇談会が開催され、内堀名誉会長、須佐会長が各テーブルを回り出席された皆様と親しく懇談されました。

今年度の受賞者名簿は下記のとおりです。(敬称省略)

スポーツ功労賞 多年にわたり、本協会の運営並びに事務遂行に貢献し、本県スポーツの振興に功績のあった方々

- 橋本 遊二 (福島県バドミントン協会)
- 太田 昌夫 (福島県ボクシング協会)
- 森 トキ子 (福島県弓道連盟)
- 緑川 幹朗 (福島県セーリング連盟)
- 青木 勝彦 (福島県トライアスロン協会)
- 佐久間初男 (県中地域連合)
- 山川 均 (会津地域連合)
- 瓜生 敏男 (会津地域連合)

優秀選手賞(個人) 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた選手及び国際大会に出場した選手

陸 上 競 技		バ ド ミ ン ト ン		な ん じ な た	
● 武石この実 ((株)東邦銀行)		● 山下 啓輔 (福島県立ふたば未来学園高等学校(2年))		● 添田日佳理 (福島県立会津学鳳中学校(2年))	
● 青木沙弥佳 ((株)東邦銀行)		● 杉山 薫 (福島県立ふたば未来学園高等学校(1年))		● 高根 凜 (会津若松市立第四中学校(3年))	
● 松本奈菜子 ((株)東邦銀行)		● 谷岡 大后 (福島県立ふたば未来学園中学校(2年))		● 辰野 心音 (福島県立会津学鳳中学校(3年))	
● 田母神一喜 (中央大学(4年))		● 吉田 邦男 (ゼビオコーポレート(株))		● 田中 莉央 (会津若松市立第二中学校(2年))	
● 山下 潤 (筑波大学(4年))		● 高松 悦子 (会津BC)		● 長島 里咲 (福島県立会津学鳳中学校(2年))	
● 山下 航平 (ANA)		● 増子 トキ (福島県バドミントン協会)		● 野村 咲祐 (福島県立会津学鳳中学校(2年))	
● 相澤 晃 (東洋大学(4年))		● 大金 依香 (福島県立郡山商業高等学校(教))		● 吉田 来未 (会津若松市立一貫中学校(3年))	
● 阿部 弘輝 (明治大学(4年))		● 塚野美和子 (AAC)		● 古館 佳樹 (新潟医療福祉大学(1年))	
● 鈴木 天大 (東京国際大学(3年))		ボ ク シ ン グ		● 渡部 悠雅 (新潟リハビリテーション大学(2年))	
● 佐藤 皓人 (日本大学(2年))		● 遠藤 広大 (ハッ橋設備(株))		ボ ウ リ ン グ	
● 藤宮 歩 (学校法人石川高等学校(1年))		● 猪俣向日葵 (福島県立会津工業高等学校(2年))		● 鈴木 英子 (日立オートモティブシステムズ株式会社)	
● 外島 央 (福島県立会津学鳳高等学校(1年))		柔 道		● 大河内未来 ((株)アグリテクノ)	
● 安倍 優紀 (福島県立清陵情報高等学校(3年))		● 瀧澤 秀斗 (東海大学(2年))		カ ヌ ー	
● 谷口 紗菜 (福島県立福島第三中学校(2年))		ス ケ ー ト		● 青木 瑞樹 (福島県立安達高等学校(2年))	
ソ フ ト テ ニ ス		● 秋山 光希 (福島県立郡山商業高等学校(3年))		● 小久保海杜 (福島県立安達高等学校(3年))	
● 大槻 麗 (住友ゴム工業(株)白河工場)		ウ エ イ ト リ フ テ ィ ン グ		● 小山田香貴 (福島県立二本松工業高等学校(2年))	
ハ ン ド ボ ー ル		● 今野 金哉 (福島県警クラブ)		● 野地 寿 (福島県立二本松工業高等学校(1年))	
● 笠原 謙哉 トヨタ車体(株)		● 高野 滋 (福島県ウエイトリフティング協会)		● 渡辺 愛生 (福島県立安達高等学校(2年))	
卓 球		● 大内 俊幸 ((有)丸中建設)		● 小久保妙海 (二本松市立二本松北小学校(4年))	
● 田崎 朝子 (会津クラブ)		● 清野 裕司 (福島県立小野高等学校(職))		● 嶋原 健司 (福島県カヌー協会)	
● 渡部 洋一 (会津クラブ)		● 近内 三孝 (日本大学(職))		● 河崎 睦野 (東北電力株式会社白河営業所)	
● 津田 圭一 (会津クラブ)		● 穴戸 大輔 (日本大学(3年))		パ ワ ー リ フ テ ィ ン グ	
● 中島 浩紀 (GBいわき)		● 安藤 千鈴 (平成国際大学(1年))		● 羽田 大 (REDZONE福島)	
● 西山真知子 (GBいわき)		● 齋藤 由弥 (ノオコー建設(株))		ト ラ イ ア ス ロ ン	
剣 道		● 遠藤 梨李 (福島県立田村高等学校(3年))		● 鋤崎 隆也 (さわかみホールディングス)	
● 菅野 透馬 (福島県立渡利中学校(3年))		● 君島 一成 (福島県立田村高等学校(3年))		● 長正 憲武 (福島大学(2年))	
ボ ー ト		● 内藤 武蔵 (福島県立田村高等学校(3年))		パ ウ ン ド テ ニ ス	
● 連沼 隆世 (明治大学(4年))		● 本間 愛梨 (福島県立田村高等学校(2年))		● 加藤 未佳 (福島県バウンドテニス協会)	
● 石塚慎之助 (中央大学(3年))		レ ス リ ン グ		ス ポ ー ツ チ ャ ン パ ラ	
水 泳		● 阿久津 流 (福島県立田島高等学校(2年))		● 武田 泰輝 (相馬市立中村第一中学校(3年))	
● 寺田 拓未 (日本体育大学(4年))		● 皆川 博恵 (クリナップ(株))		● 間弓 瑠泉 (郡山ザベリオ学園小学校(3年))	
● 安齋 叶空 (福島成蹊高等学校(3年))		● 今村 大地 (日本大学(1年))		中 学 校 体 育 連 盟	
● 渡部 竣也 (郡山市立開成小学校(6年))		● 今村 太陽 (福岡大学(3年))		● 齋藤 駿 (福島県立ふたば未来学園中学校(3年))	
自 転 車 競 技		● 金澤 杏 (福島県立ふたば未来学園高等学校(2年))		● 岩野 滉也 (福島県立ふたば未来学園中学校(3年))	
● 邊見 竜馬 (学校法人石川高等学校(3年))		● 河名真寿斗 (クリナップ(株))		● 池田真那斗 (福島県立ふたば未来学園中学校(3年))	
● 邊見 光輝 (学校法人石川高等学校(3年))		ス ポ ー ツ ク ラ イ ミ ン グ		● 崎野 翔太 (福島県立ふたば未来学園中学校(3年))	
● 三神 遼矢 (福島県立平工業高等学校(3年))		● 横瀬 亜美 (福島県立ふたば未来学園中学校(2年))		● 石岡 空来 (福島県立ふたば未来学園中学校(2年))	
● 秋元 拓海 (帝京安積高等学校(3年))		● 滝口 萌 (郡山女子大学附属高等学校(1年))		● 伊藤 歩 (福島県立ふたば未来学園中学校(3年))	
● 窪木 一茂 (ブリヂストンサイクル(株))		● 林 あいり (福島県立湯本高等学校(2年))		● 山北 奈緒 (福島県立ふたば未来学園中学校(2年))	
● 風間 翔真 (東北学院大学(4年))		銃 剣 道		● 深谷 大輝 (いわき市立内郷第一中学校(3年))	
● 中村 龍古 (中央大学(1年))		● 赤井 晃佑 (福島県立西信中学校(2年))		● 三宅 花音 (郡山市立郡山第四中学校(2年))	
● 渡邊 歩 (EQADS)		空 手 道		障 が い 者 ス ポ ー ツ	
● 渡邊 正光 (日本競輪選手会福島支部)		● 八島 愛斗 (学法福島高等学校(2年))		● 佐々木真菜 (東邦銀行(株))	
● 渡邊 一成 (日本競輪選手会福島支部)		な ん じ な た		● 佐藤 智美 (東邦銀行(株))	
● 新田 祐大 (日本競輪選手会福島支部)		● 齋藤 啓佑 (福島県立会津学鳳高等学校(3年))		● 齋藤由希子 (SMBC日興証券)	
バ ド ミ ン ト ン		● 伊藤 華子 (会津若松ザベリオ学園中学校(2年))		● 加藤 健人 (アクサ生命保険(株))	
● 内山 智尋 (福島県立ふたば未来学園高等学校(3年))		● 今木 千裕 (会津若松市立第二中学校(3年))		● 吉田 信一 (国立研究開発法人情報通信研究機構)	
● 廣上 瑠依 (福島県立ふたば未来学園高等学校(2年))		● 大島弓佳莉 (会津若松市立第二中学校(2年))		● 豊島 英 (WOWOW)	
● 木村 百伽 (福島県立ふたば未来学園高等学校(3年))		● 菅野湖々菜 (会津若松市立第二中学校(3年))		● 半谷 静香 (エイベックスホールディングス(株))	
● 稲光翔太郎 (福島県立ふたば未来学園高等学校(2年))		● 久保田のえる (会津若松ザベリオ学園中学校(3年))		● 橋本 勝也 (福島県立田村高等学校(2年))	
● 中静 朱里 (福島県立ふたば未来学園高等学校(2年))		● 齋藤 瞳 (会津若松市立一貫中学校(3年))		● 遠藤 裕美 (福島県ボッチャ協会)	
● 武井 凜生 (福島県立ふたば未来学園高等学校(1年))		● 鈴木 頼佳 (会津若松市立第二中学校(3年))			

優秀選手賞(団体) 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた団体

- 陸上競技**
- 第67回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 女子4×100mR 東邦銀行
 - 第67回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 女子総合 東邦銀行
 - 天皇盃第24回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会 福島県
 - 第69回全国高等学校駅伝競走大会 学校法人石川高等学校
- ソフトテニス**
- 第63回全日本実業団ソフトテニス選手権大会 ダンロップ
 - 第74回国民体育大会 ソフトテニス競技 福島県
- サッカー**
- 第97回全国高等学校サッカー選手権大会 尚志高等学校
 - 令和元年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会 尚志高等学校
 - 第55回全国社会人サッカー選手権大会 いわきFC
- 卓球**
- 第38回全日本クラブ卓球選手権大会 女子小・中学生の部 富久山卓球クラブA
 - 第37回全国ホープス卓球大会 富久山卓球クラブA
- 自転車競技**
- 第74回国民体育大会 自転車競技 男子4kmチームパーシュート 福島県
- バスケットボール**
- 第1回全日本社会人バスケットボール選手権大会 福島教員A
- バドミントン**
- 令和元年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会 男子学校対抗 福島県立ふたば未来学園高等学校
 - 令和元年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技大会 女子学校対抗 福島県立ふたば未来学園高等学校
 - 平成30年度第47回全国高等学校選抜バドミントン大会 女子学校対抗 福島県立ふたば未来学園高等学校

- 弓道**
- 令和元年度全国高等学校総合体育大会弓道競技大会 男子団体 福島県立白河高等学校
- スケート**
- 第68回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会 チームパシュート 福島県立郡山商業高等学校
- 馬術**
- 第53回全日本高等学校馬術競技大会 福島県立岩瀬農業高等学校
- ソフトボール**
- 第12回春季全日本小学生男子ソフトボール大会 中山スポーツ少年団
- フェンシング**
- 第74回国民体育大会 フェンシング競技 男子エペ 福島県
- 銃剣道**
- 第18回全日本短剣道大会 団体戦女子の部 郡山
 - 第50回全日本青年銃剣道大会 団体戦青年第1部 第44普通科連隊
- なぎなた**
- 平成30年度第14回全国高等学校なぎなた選抜大会 女子団体試合 福島県立会津学鳳高等学校
- 綱引**
- 2019全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会 ジュニア320kg以下の部 木幡べんてんジュニア
 - 2019全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会 ジュニア360kg以下の部 ちびたんスピリッツ
 - 2019全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会 ジュニア280kg以下の部 木幡べんてんKIDS
- 中学校体育連盟**
- 令和元年度全国中学校体育大会 第49回全日本中学校バドミントン大会 男子団体戦 福島県立ふたば未来学園中学校
 - 令和元年度全国中学校体育大会 第49回全日本中学校バドミントン大会 女子団体戦 福島県立ふたば未来学園中学校

優秀指導者賞 優秀選手の育成に直接貢献した指導者

- 福島陸上競技協会**
- 吉田真希子 (株)東邦銀行
- 福島陸上競技協会**
- 安西 秀幸 安西商会
- 福島陸上競技協会**
- 松田 和宏 学校法人石川高等学校
- 福島県ソフトテニス連盟**
- 大槻 三喜 住友ゴム工業(株)
- 福島県卓球協会**
- 深谷 由美 富久山卓球クラブ
- 福島県卓球協会**
- 深谷 秀三 富久山卓球クラブ
- 福島県バスケットボール協会**
- 五十嵐敦至 福島県立相馬高等学校
- 福島県バドミントン協会**
- 本多 裕樹 福島県立ふたば未来学園高等学校
- 福島県弓道連盟**
- 高橋 幸博 福島県立白河高等学校
- 福島県ウエイトリフティング協会**
- 小野寺浩亀 福島県立田村高等学校
- 福島県ウエイトリフティング協会**
- 鈴木 宗徹 福島県立福島明成高等学校
- 福島県ウエイトリフティング協会**
- 金子 和央 福島医療専門学校
- 福島県ウエイトリフティング協会**
- 渡部 靖 福島県立福島工業高校
- 福島県山岳連盟**
- 菅野 富寿 南蓬萊ひだまり治療院
- 福島県銃剣道連盟**
- 肥塚 克典 陸上自衛隊第6特科連隊
- 福島県銃剣道連盟**
- 小野 拓哉 陸上自衛隊第44普通科連隊
- 福島県なぎなた連盟**
- 武藤小夜子 福島県立会津学鳳高等学校
- 福島県カヌー協会**
- 小久保英一知 福島県立安達高等学校
- 福島県綱引連盟**
- 齋藤 慶司 木幡べんてんジュニア
- 福島県綱引連盟**
- 笠原 則人 ちびたんスピリッツ
- 福島県中学校体育連盟**
- 齋藤 亘 福島県立ふたば未来学園中学校
- 福島県障がい者スポーツ協会**
- 天下谷真弓 (株)東邦銀行

社会優良団体賞 地域・職域のクラブとしての活動を通して、本県の地域スポーツ振興に功績のあった団体

- いわき卓球スポーツ少年団
- 金山スキークラブ

特別賞 国民体育大会の競技別優勝や世界大会で特に顕著な活躍をした団体・個人

- 相澤 晃 東洋大学 (4年)
- 窪木 一茂 プリチストンサイクル (株)
- 近内 三孝 日本大学 (職)
- 山下 潤 筑波大学 (4年)
- 新田 祐大 日本競輪選手会福島支部
- 皆川 博恵 クリナップ(株)



謝辞
近内三孝選手



特別賞
相澤 晃選手



特別賞
近内三孝選手



特別賞
皆川博恵選手
(代理 今村浩之氏)



スポーツ功労賞
緑川幹朗氏



優秀選手賞(個人)
山下航平選手



優秀選手賞(団体)
伊藤 歩選手



優秀指導者賞
渡部 靖氏



社会体育優良団体賞
いわき卓球スポーツ少年団
(代表 橋本卓史氏)

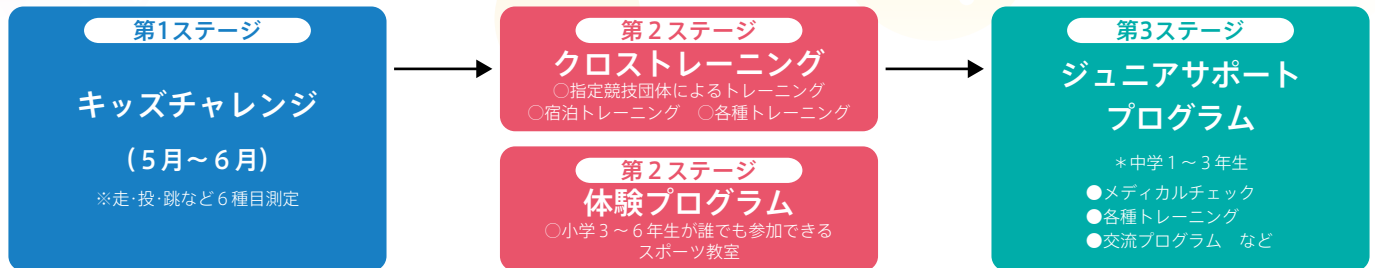
集まれ!!
未来の
アスリート

～公益財団法人東日本大震災復興支援財団支援事業 公益財団法人福島県スポーツ振興基金助成事業～

ふくしまスポーツキッズ発掘事業

将来有望な人材の発掘・確保・育成を目的として「スポーツが大好き」「なにかスポーツをやってみよう」という小学生を対象に、自分に合った種目や興味のあるスポーツに出会い、夢や希望をもってスポーツに取り組むことができるよう支援をしています。また、前年度までに選考された中学生対象のジュニアサポートプログラムも実施しています。

【事業の流れ】



第1ステージ ◆ キッズチャレンジ ◆

第1ステージキッズチャレンジは、5月～6月にかけて県内の小学3年生～6年生を対象に、福島県内5会場で実施しました。県内のすべての小学校に募集したところ、340名のキッズが各会場で元気に参加してくれました。60名が選考され、第2ステージクロストレーニングに進みました。

●スポーツキッズの内容(6種目実施)

- 25m走
- 全身反応
- 反復横跳
- 四方向ステップ
- 立五段跳
- 膝立ちボール投げ

●会場・実施日・参加人数

開催地区	実施日	会 場	時間帯	参加人数	備 考
いわき	5月26日(日)	内郷コミュニティセンター	午前	43名	2部制で実施
			午後	33名	
会津	6月8日(土)	河東総合体育館	午後	44名	2部制で実施
相双	6月15日(土)	鹿島体育館	午後	11名	
県北	6月23日(日)	福島市南体育館	午前	46名	2部制で実施
			午後	64名	
県南	6月29日(土)	須賀川アリーナ	午前	40名	2部制で実施
			午後	59名	
※1回の定員100名とし、5会場8回の実施			合計	340名	



第2ステージ ◆ クロストレーニング ◆

第2ステージに選考されたキッズは、本協会と競技団体が連携して実施するクロストレーニングに参加しました。9月の開始式から活動が始まり、12月の修了式までの全6回を行いました。各トレーニングは、今まで体験したことのない競技に触れる機会が多く、キッズは目を輝かせて活動していました。それぞれのトレーニングで得た経験を今後の活動に活かしてほしいと願っています。

日 程	種 目	主管団体	会場
9月7日(土)	開始式 スポーツマンとして(講話) 体づくり運動 コーディネーション トレーニング	県体協(外部指導者招聘)	安積総合学習センター
9月15日(日)	ボクシング	福島県ボクシング連盟	磐城緑蔭高校
9月22日(日)	アイスホッケー	福島県アイスホッケー連盟	磐梯熱海アイスアリーナ
9月23日(月)	アーティスティックスイミング	福島県水泳連盟	郡山しんきん開成山プール
10月20日(日)	スポーツクライミング	福島県山岳連盟	スカイピアあだたらアクティブパーク
12月14日(土) ～15日(日)	フェンシング スプリントトレーニング 宿泊トレーニング 修了式	福島県フェンシング協会 県体協(外部指導者招聘)	あづま総合運動公園



第2ステージ ◆ 体験プログラム ◆

県内の小学3～6年生を対象に、競技団体主催の体験教室を実施しました。どのプログラムも参加したキッズの生き生きとした表情が印象的でした。多くのキッズに様々な種目を体験してほしいと思います。

日 程	種 目	主管団体	会場
7月13日(土)	テニス	福島県テニス協会	本宮市白沢庭球場
8月10日(土)	カヌー(スプリント)	福島県カヌー協会	二本松市阿武隈漕艇場
8月18日(日)	セーリング	福島県セーリング連盟	いわきサンマリーナ
8月31日(土)	トライアスロン	福島県トライアスロン協会	あづま総合運動公園
9月 8日(日)	ホッケー	福島県ホッケー協会	ルネサンス棚倉多目的広場
9月16日(月)	トランポリン	福島県体操協会	郡山西部体育館
9月21日(土)	カヌー(スラローム・ワイルドウォーター)	福島県カヌー協会	二本松市立東和小学校プール
10月12日(土)	レスリング	福島県レスリング協会	クリナップ井上記念体育館
10月19日(土)	アイスホッケー	福島県アイスホッケー連盟	磐梯熱海アイスアリーナ
10月20日(日)	フェンシング	福島県フェンシング協会	川俣高校第二体育館
10月26日(土)	ウエイトリフティング	福島県ウエイトリフティング協会	のんびり温泉「三宅道場」
10月26日(土)	アーチェリー	福島県アーチェリー協会	福島県青少年会館体育館
11月 2日(土)	ソフトテニス	福島県ソフトテニス連盟	本宮市白沢体育館
11月 9日(土)	相撲	福島県相撲連盟	学法福島高校屋内相撲場
11月16日(土)	スケート	福島県スケート連盟	磐梯熱海アイスアリーナ



アーチェリー



トライアスロン



相撲



ホッケー



カヌー(スプリント)

第3ステージ ◆ ジュニアサポートプログラム ◆

平成30年度までに選考された中学1～3年生までのジュニア29名を対象に、基礎運動能力の向上を主としたプログラムを実施しました。交流プログラムでは、1日目は元なでしこジャパンの川澄奈穂美選手の講演後、J1リーグの試合観戦をしました。2日目は東京都体育協会が選考するジュニアとの交流をはじめ、ラグビーフットボール競技元日本代表の畠山健介選手との交流の場を設けていただきました。川澄氏や畠山氏へ積極的に質問し、様々なことを吸収しようと意欲的に取り組んでいました。同世代選手やトップアスリートとの交流は、ジュニアにとって目的意識を高める有意義な時間となりました。



コーディネーショントレーニング



メンタルトレーニング



交流プログラム



交流プログラム



メディカルチェック



体幹トレーニング



交流プログラム



交流プログラム

日 程	種 目	主管団体	会場
6月16日(日)	第1回メディカルチェック①	県体協(ARCクリニック)	ARCクリニック
6月30日(日)	第1回メディカルチェック②		
9月 7日(土)	開始式 リーダー講習 体幹トレーニング メンタルトレーニング①	県体協(外部指導者招聘)	安積総合学習センター
9月22日(日)	コーディネーショントレーニング	県体協(外部指導者招聘)	ふるさとの森スポーツパーク
11月10日(日)	第2回メディカルチェック①	県体協(ARCクリニック)	ARCクリニック
11月24日(日)	第2回メディカルチェック②		
12月 7日(土)～8日(日)	交流プログラム	県体協(外部指導者招聘)	東京都内
12月15日(日)	メンタルトレーニング② 修了式	東京都体育協会	あづま総合運動公園

ふくしまゴルフプロジェクト

全国でも有数のゴルフ場を有する福島県として地域資源を有効活用し、ゴルフの競技力向上とゴルフ人口の裾野拡大を目指し、LPGA（日本女子プロゴルフ協会）と連携しながら、栗西鈴香氏を講師に「ゴルフに触れる機会の創出」、「ゴルフ指導者の育成」、「競技力の向上」の視点から事業を実施しました。

高校ゴルフ出前講座

⇒高校生を対象にジュニア期の競技力向上とゴルフに触れる機会の創出を通して裾野拡大をめざし、授業の一環としてゴルフの体験をしました。



スナッグゴルフ教室

⇒ジュニア期からゴルフに触れる機会を創出し、ゴルフ人口の裾野拡大を図ることを目的として、小学生を対象にスナッグゴルフ教室が開催されました。



ジュニアゴルフ塾

⇒ゴルフ経験のある小学生を対象にジュニア期からゴルフのスキルアップを図りながら、本県から優秀なゴルファーを輩出し、ゴルフ競技の機運醸成につなげていくことを目的に、今年度は、県南管内の小学生7名が栗西コーチから毎週1～3回のレッスンを受けました。



指導者養成講習会

⇒指導者を増やし、ゴルフに対する興味・関心を深めることで、本県ゴルフ競技の普及や底辺の拡大を図る目的でスナッグゴルフの講習会を行っています。

ふくしまラグビー交流事業

「ラグビーワールドカップ2019」や「第32回オリンピック競技大会」という大規模国際大会を控えているなかで、県内の小学生に十分な運動量が確保できるタグラグビーを活用して体力の向上を図るとともに、国際大会の機運醸成するために、ふくしまラグビー交流事業を実施しました。

◆タグラグビー出前講座◆

タグラグビーを通して児童・生徒の体力向上の機会を提供するとともに、本県ラグビー競技の普及や競技人口の拡大につなげる目的で、20の小学校体育の授業に講師を招へいし、児童がタグラグビーを体験しました。

日 程	学 校 名
9月5日(木)	白河市立大屋小学校
9月10日(火)	南相馬市立小高・福浦・金房・鳩原小学校
9月26日(木)	いわき市立入遠野小学校
10月9日(水)	喜多方市立高郷小学校
10月23日(水)	鏡石町立第一小学校
10月25日(金)	桑折町立釀芳小学校
11月1日(金)	福島市立野田小学校
11月6日(水)	いわき市立中央台東小学校
11月12日(火)	会津若松市立湊小学校
11月14日(木)	福島市立岡山小学校

日 程	学 校 名
11月19日(火)	いわき市立勿来第二小学校
11月20日(水)	田村市立要田小学校
11月21日(木)	白河市立釜子小学校
11月22日(金)	広野町立広野小学校
11月28日(木)	北塩原村立裏磐梯小学校
11月29日(金)	三春町立中妻小学校
12月2日(月)	白河市立表郷小学校
12月17日(火)	郡山市立東芳小学校
1月22日(水)	いわき市立平第六小学校
1月27日(月)	相馬市立日立木小学校



表郷小学校



平第六小学校



東芳小学校



日立木小学校



高郷小学校



岡山小学校

公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチ1・コーチ2養成講習会

令和元年6月上旬～令和2年1月下旬において、公益財団法人日本スポーツ協会公認コーチ1・コーチ2養成講習会が県内各地で実施されました。今年度は、コーチ1が5競技(水泳・山岳・バレーボール・ハンドボール・アイスホッケー)、コーチ2が1競技(卓球)の計6競技団体で専門科目講習を実施し、総勢87名の受講者が資格取得を目指して受講しました。

「コーチ1・コーチ2」とは、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度の競技別指導者資格にあたります。コーチ1は、地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動のコーチングスタッフとして、基礎的な知識・技能に基づき安全で効果的な活動を提供する者、コーチ2は、地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等の監督やヘッドコーチ等の責任者として、安全で効果的な活動を提供するとともに、指導計画を構築、実行、評価し監督することと併せて、コーチ間の関わり及び成長を支援する者とされています。

受講者は、技術指導理論・実技や応急処置など、種目に応じた専門科目を20時間以上受講し、その後検定試験を受けました。今後は、上記のように幅広く社会に貢献できる地域のスポーツ指導者として活躍することが期待されます。



アイスホッケー



山岳



バレーボール



ハンドボール



水泳



卓球

公認スポーツ指導者制度の改定について

日本スポーツ協会は、令和元年4月から公認スポーツ指導者制度を改定施行しました。競技別指導者資格(教師・上級教師を除く)の名称が下記の通り変わりました。また、令和2年4月からは、「スタートコーチ」が新設され、スポーツ少年団の指導者養成資格制度も変わります。改定に関わる詳細は日本スポーツ協会ホームページや日本スポーツ協会が発行する「Sport Japan」などに掲載されています。

【 改定前 】		【 改定後 】
○指導員	→	コーチ 1
○上級指導員	→	コーチ 2
○コーチ	→	コーチ 3
○上級コーチ	→	コーチ 4

令和2年度公益財団法人日本スポーツ協会 公認指導者養成講習会について

令和2年度に本県で開催を予定しているのは、以下の通りです。開催時期や日程・内容等の詳細については、本協会ホームページに5月上旬に掲載予定ですのでご覧ください。

(開催競技団体名)

コーチ 1 (4 競技) : 山岳・バドミントン・
フェンシング・
ソフトテニス

コーチ 2 (2 競技) : ソフトテニス・水泳

*コーチ 2 は、本協会主催で共通科目Ⅱ
(集合講習会)を開催予定です。

スポーツ医事・トレーニング相談事業

この事業では、スポーツ愛好者や選手のけが・病気等に関する相談をはじめ、体力や種目の特性に応じたトレーニング処方を行い、健全なスポーツ活動の推進を図ることを目的として、依頼により相談員・講師を派遣しています。また、FAXやメールによる相談も受け付けています。

相談員・講師は、本協会のスポーツ医・科学委員、スポーツドクター部会員、アスレティックトレーナー部会員、スポーツ栄養士部会員、JADA公認スポーツファーマシスト、その他スポーツ医・科学委員会の認めた方が務めています。

今年度は、令和元年4月中旬～令和2年3月上旬までの期間で計55回を開催し、3000名以上の方が参加されました。実施した講義内容では、「ウォーミングアップ・クールダウン」「体幹トレーニング」「スポーツと栄養」に加え、今年度は「スポーツ心理学」についての講義依頼も多くありました。令和2年度も本事業は継続して実施しますので、ぜひ御気軽に御相談ください。

活動の様子の例



開催日 10月8日(火)
依頼団体 鹿島生涯学習センター
場 所 鹿島農村環境改善センター
テ マ 「バランスポールを使用した健康法」
講 師 二瓶敦志 氏
参加者 15名(一般成人女性)



開催日 10月10日(木)
依頼団体 田村高等学校 第1学年
場 所 田村高等学校体育館
テ マ 「スポーツと栄養(食生活)」
講 師 山崎有理子 氏
参加者 202名(高校生:1学年)



開催日 12月15日(日)
依頼団体 福島県スキー連盟
場 所 猪苗代観光ホテル
テ マ 「メンタルトレーニングについて」
講 師 沖 和砂 氏
参加者 409名(スキー・スノーボード有資格者)

講師派遣の内容例	講 義	実 技
	●スポーツ外傷・障害の基礎知識 ●スポーツと栄養 ●アンチドーピング ●スポーツ心理学 ●けがの応急処置 など	●ストレッチ ●ウォーミングアップ・クールダウン ●スポーツテーピング ●スポーツマッサージ ●筋力トレーニング など

【申し込み方法】

相談員・講師の派遣を希望する場合は、下記の連絡先まで御連絡ください。
(講師に係る経費は本協会が負担します。)

また、過去の相談例、派遣依頼の様式等は本協会HPでもご覧いただけます。
(公財)福島県体育協会 TEL: 024-521-7896 FAX: 024-521-7971

E-mail: info@sports-fukushima.or.jp

URL: https://www.sports-fukushima.or.jp/

令和元年度 福島県スポーツ指導者研修会（更新研修会）

福島県スポーツ指導者協議会では、指導者の資質向上と指導活動の充実を図るために、年3回のスポーツ指導者研修会（更新研修会）を実施しています。今年度は第1回を会津地区ブロック、第2回を県北地区ブロック、第3回は全県ブロックで開催しました。

第1回 浜通り・会津地区ブロック研修会

- 開催日：第1回 令和元年11月24日（日）
 ：第2回 令和元年12月22日（日）
 ○場 所：第1回 会津大学短期大学部
 ：第2回 白沢公民館
 ○内 容：講 義 「スポーツの指導方法」
 ～反倫理的行為の根絶と、中高年のための運動指導について～
 講 師 ①会津大学短期大学部講師 渡部琢也 氏
 ②白河市立白河第二中学校教諭 小野覚久 氏

はじめに、大塚製薬株式会社から、「スポーツと免疫力」について情報提供がありました。午前の講義では、渡部琢也氏から体組成の知識を用いた中高年の運動プログラムについて、小野覚久氏よりコーディネーショントレーニングの必要性、導入方法や実践のポイントについての話がありました。午後は、それぞれの先生がハイインパクトトレーニングやスロートレーニング、コーディネーショントレーニングなどの運動プログラムについて実技講習を行いました。

参加者は、今後の指導に生かそうと積極的に体を動かしながら、さまざまな運動プログラムの指導方法を学びました。



①渡部琢也 氏



②小野覚久 氏

第3回 全県ブロック研修会

- 開催日：令和2年1月26日（日）
 ○場 所：郡山ユラックス熱海
 ○内 容：特別講演 「2020オリパラ後のレガシーを活かすために」
 ～2019ラグビー Wカップ 2020オリパラ後のスポーツ指導者は～
 講 師 ③公益財団法人笹川スポーツ財団主任研究員 澁谷 茂樹 氏

はじめに、大塚製薬株式会社から、「スポーツと免疫力」について情報提供がありました。その後、澁谷茂樹氏の講演では、笹川スポーツ財団の「スポーツライフデータ」をもとに、日本人の運動・スポーツの実施状況やスポーツ現場が抱える様々な課題、スポーツ指導者を取り巻く現状、スポーツボランティア等についての説明がありました。研究協議では、「スポーツ指導現場の課題解決のために、東京2020オリンピックを活かすことはできないか」をテーマに、様々な競技や立場からそれぞれの意見を出し合い、発表をしました。本講習会には148名の受講者が参加し、指導者としての資質を高めようと真剣に話を聞き、積極的に考えを出し合いながら協議を深めていました。



アンチ・ドーピング教育・啓発事業

本協会は、スポーツ医・科学委員会と福島県薬剤師と連携しながら、アンチ・ドーピングに関する啓発活動を実施し、アスリートがフェアプレイ精神のもと競技力を発揮できるように取り組んでいます。

◎リーフレットの作成と配布(①)

本協会では、アンチ・ドーピング啓発活動の強化を図るため、毎年リーフレットを作成しております。今年度は、アンチ・ドーピングやスポーツファーマシストに関する情報をより手軽に知ることができるよう、JADA(日本アンチドーピング機構)やJSPO(日本スポーツ協会)のQRコードを「アンチ・ドーピング意思表示カード」の裏面に添付しました。作成したリーフレットは、東北総体・国体へ出場する選手や関係者、加盟競技団体等へ配布し、アンチ・ドーピング教育・啓発活動に努めました。

*リーフレットは本協会のホームページからもダウンロードできます。

◎各競技団体との連携(②)

各競技団体へのアンチ・ドーピング啓発活動として、強化合宿の際に「アンチ・ドーピング講習会」を通年で実施し「うっかりドーピング」の根絶を呼びかけました。また、平成26年度より6年計画で全競技完全実施を目指し、まだ1度も実施していない競技団体に対して実施をはたらきかけ、今年度ですべての競技団体でアンチ・ドーピング講習会を実施することができました。実施に当たっては県薬剤師会から講師を派遣するとともに、昨年度よりパラドーピングについての内容も盛り込みました。

今年度を実施した競技団体は、野球、相撲、バドミントン、ボクシング、スケート、山岳、アーチェリー、柔道、アイスホッケー、馬術、空手道の11競技団体でした。



【平成30年度から新たに追加した取り組み】

- 各競技団体から独自アンチ・ドーピング研修会(競技団体主催)の報告の義務化
- 大会等のプログラム等にアンチ・ドーピング啓発活動内容を掲載
- スポーツファーマシストが在籍する薬局をマップ化し、体育協会HPへ掲載
- 県認定アスレティックトレーナー養成講習会におけるアンチ・ドーピング講座の追加



ふくしま広域スポーツセンター フォローアップセミナー

テーマ 『ジュニア期のスポーツ体制を支えるスポーツ少年団と総合型クラブの連携促進』

日時 令和元年12月4日(水) 13時50分から16時30分

場所 アクティブシニアセンターアオウゼ(福島市)

2019年度総合型地域スポーツクラブフォローアップセミナーが、県内外各地から、総合型スポーツクラブに携わっている方やスポーツ少年団関係者、市町村のスポーツ行政担当者や大学生等47名の参加で開催されました。

コーディネーターに笹川スポーツ財団の澁谷氏をお迎えし、地域スポーツにそれぞれの立場に関わる以下の4名によるパネルディスカッション形式で行いました。

コーディネーター



澁谷 茂樹氏 (笹川スポーツ財団主席研究員)

問題提起

「総合型クラブとスポーツ少年団の実態」

パネリスト



半澤 勇一郎氏 (福島県体育協会スポーツ少年団係長)

具体策①

「福島県スポーツ少年団加入者の現状、指導者制度改定の背景」



佐藤 靖弘氏 (福島県総合型スポーツクラブ連絡協議会理事長)

具体策②

「福島県内の総合型地域スポーツクラブの現状と課題、特に経営面」



蓮沼 哲哉氏 (福島大学人間発達文化学類准教授)

具体策③

「子供へのスポーツの関わり方、子供の可能性を広げる環境作り」



半澤 由美子 (ふくしま広域スポーツセンタークラブアドバイザー)

具体策④

「先進的に取り組んでいる総合型クラブの様子を紹介、取組のポイント」

ディスカッションでは、コーディネーターとパネリストの意見だけでなく、フロアーとして参加している受講者の方々にも質問や意見を出していただき、会場全体で議論を深めていきました。取り上げた話題は以下の通りです。

- ・総合型クラブとスポーツ少年団、行政がそれぞれに持つ印象について
- ・総合型クラブとスポーツ少年団が設立された背景と設立方法の違い
- ・総合型クラブとスポーツ少年団の共通点や連携の仕方

今回は、具体的な連携例までは提案できませんでしたが、総合型クラブとスポーツ少年団、行政の三者で意見を交わすことができる貴重な機会となりました。

最後のパネリストの感想では、総合型クラブもスポーツ少年団も、抱えている課題と理念は同じなので、手を結び、10年後の子供たちのために、大人がスポーツ体制を整えていきたいという声が聞かれました。



実施後の
アンケートより
(一部抜粋)

- ・それぞれの特性を活かし、子供のスポーツ環境を作っていきたい。
- ・総合型クラブもスポーツ少年団も目指しているところは同じであることが分かった。
- ・今回のテーマは、地域の方も巻き込んで協議をする内容だった。
- ・現状の社会の仕組みでは、連携は難しい。
- ・行政の支援は不可欠である。

一般社団法人 榊葉町スポーツ協会



高齢者が子供に教える微笑ましい光景が見られた、スポフェス・ファミリーゴルフ

一般社団法人榊葉町スポーツ協会は、それぞれに活動していたスポーツ少年団を含む「榊葉町体育協会」(主に競技スポーツを統括)と「総合型ならはスポーツクラブ」(スポーツや文化活動を通じた健康・地域づくりが目的)が合併しました。それにより、新しいイベントも増え、榊葉町長杯パークゴルフ大会や子供から年配の方まで楽しめる内容のスポーツフェスティバル、個人のみならず家族での参加が多かったボウリング大会など、榊葉町のスポーツ環境がより良くなってきています。

また、平成31年4月には、温水プール、フィットネスジムを備えた榊葉町屋内体育施設「ならはスカイアリーナ」が開館、「Jヴィレッジ」と連携した地域スポーツ振興の基盤整備が進み、町民のスポーツに対する意欲は高まりつつあります。

次年度は、新たな教室「ヨガ」、また幼児が中心の安田式体操、スマートライフステイ等の取り組みを計画しています。今後ますます町民の健康づくりと交流の場づくりを積極的に推進し、元気な榊葉町の緑の下の力持ちになりたいと思います。



白熱した試合が繰り広げられた「職域対抗フットサル大会」



スポーツウエルネス吹矢の体験(双葉地区研修会)



スカイアリーナでバスケットボールスポーツ少年団活動中



一泊軽登山教室「佐波を歩こう」
1日目は二ツ亀から大野亀までウォーキング



スカイアリーナをバックに、野球スポーツ少年団の練習風景

一般社団法人 榊葉町スポーツ協会事務局

問合せ

住 所 〒979-0605

福島県双葉郡榊葉町大字大谷字上ノ原16番地ならはスカイアリーナ内

TEL 0240-26-0076 FAX 0240-23-6047

MAIL sports-n@helen.ocn.ne.jp

(公財)福島県体育協会賛助会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

《法人・団体 特別会員》

会津商工信用組合 会津漆器調製(株) (株)アラジン (株)いちい いわき信用組合 (株)インフォメーション・ネットワーク福島 エクセルツリー(株) (株)岡部 (株)オノヤスポーツ 加藤建材工業(株) (有)カネチョウ坂本商店 (株)環境分析研究所 (株)久野製作所 クリナップ(株)いわき事業所 クリヤマ(株)仙台営業所 (株)クリーンテック (株)グレイス福島 (医)須賀川セントラル眼科	住友ゴム工業(株)白河工場 (公財)仁泉会 (株)セントラル住設 (福)創世福祉事業団 相双五城信用組合 相馬共同火力発電(株) 相馬秩父生コン(株) (株)大東銀行 (株)ダイユーエイト (一財)竹田健康財団 (株)テレビユー福島 東亜道路工業(株)福島営業所 東京海上日動あんしん生命(株) 東京海上日動火災保険(株) (株)東邦カード (株)東邦銀行 (株)東邦クレジットサービス 東邦情報システム(株)	東邦信用保証(株) 東邦土地建物(株) 東邦ビル(株) 東邦リース(株) 東北建設(株) (株)トヨタレンタリース福島 中村土木(株) 日本全業工業(株) 日本中央競馬会福島競馬場 (株)二丸屋山口商店 (株)ハニーズホールディングス (株)福島銀行 福島県議会スポーツ振興議員連盟 福島県ゴルフ連盟 福島県商工信用組合 福島県信用保証協会 福島県旅館ホテル生活衛生同業組合 福島商事(株)	(株)福島中央テレビ 福島テレビ(株) 福島トヨタ自動車(株) (株)福島放送 (一財)ふくしま未来研究会 (株)福島民報社 福島民友新聞社 福浜大一建設(株) 公立藤田総合病院 (株)マルト (株)モリヨシ技研 山木工業(株) (株)ヨークベニマル 若松測量設計(株) ※他に匿名希望 2 法人・団体
--	--	--	---

《法人・団体 会員》

(株)会津技研 (株)アクセラ (株)アスク (有)吾妻印刷 (株)アポロガス あんしんFPふおあいと (株)安藤組 磐城通運(株) (株)ウエディングエルティ 内池醸造(株) (株)エアコレクト (株)海老名建設 F S G カレッジリーグ (株)エフエム福島 (株)エムケーテック (有)エンドースクリーン (有)大波商店 (一財)大原記念財団 小名浜製錬(株)小名浜製錬所 (有)おりおり (株)加地和組 菅野建設(株) (株)絹川建設工業 キョウワセキュリティ(株) キング印刷(株) (株)キスキ	(株)グラコム (株)クラロン (株)クレハ (株)クレハ環境 クレハ錦建設(株) (株)幸楽苑ホールディングス 小勝左官工業(株) さかい動物病院 (株)佐藤商事 (株)佐藤信博建築設計事務所 (有)佐平 (株)サンライト 庄司建設工業(株) スポーツメンタルトレーニング 関場建設(株) (株)善邦 第一温調工業(株) 大宝建設(株) 大邦産業(株) (株)高橋建設 タカラ印刷(株) 月電工業(株) 月電ソフトウエア(株) 東栄物産(株) 東信建設(株) 東北索道協会福島地区部会	(株)東北装美 東北電力(株)福島電力センター (株)中里工務店 にいの運送(有) 西会津工業会 日産プリンス福島販売(株) (株)NIPPO福島統括事業所 (有)野地建設 原町港湾運送(株) 東日本テクノロジー(株) (有)挽野自動車 (株)ファミリーケア 福島県剣道連盟 福島県信用金庫協会 福島県ダンススポーツ連盟 福島県バウンデテニス協会 福島県南土建工業(株) (有)フクシマスポートランド (株)福島製作所 福島日産自動車(株) 福島訪問歯科医院 福島ヤクルト販売(株) ふくしま陸上スポーツ少年団 福島リコピー(株) (株)福南電気 (株)フジゴルフガーデン	(公財)藤田教育振興会 (株)藤野 (株)Best Business Partners (有)古川瓦建材 北斗印刷(株) 堀江工業(株) (株)マルコ物流 (株)丸福織物 (株)丸や運送 みずの内科クリニック (株)三宅新聞店 名鉄観光サービス(株)福島支店 (株)メディア・ネットワーク (株)本宮会計センター (株)ヤスタ創建 (株)山口工芸 山田建築(株) 山本商事(株) (株)友愛 (株)ラジオ福島 (株)ル・プロジェ ワイザーエル(株) ワタナベカーベット(株) ※他に匿名希望 6 法人・団体
--	--	---	--

《個人 特別会員》

壺 岐 ひろみ 菊 池 信太郎 須 佐 喜 夫 御代田 公 男 宗 形 守 敏

《個人 会員》

阿 部 正 美 安 藤 勝 喜 五十嵐 義 大 橋 哲 男 砂子田 敦 博 伊 藤 隆 司 鶴 沼 秀 雄 遠 藤 均 太 田 豊 秋	尾 形 幸 男 片 平 俊 夫 菅 野 日出喜 木 村 喜八郎 国 井 裕 一 小 松 信 之 小 山 太 郎 齋 藤 久 男	坂 本 孝 夫 佐久間 弘 朋 櫻 井 光 和 佐 藤 十 次 佐 藤 傳 一 佐 藤 弘 樹 佐 藤 昌 志 大 戸 正 幸	篠 木 敏 明 柴 野 好 宏 下 山 田 照 好 鈴 木 浩 一 鈴 木 千 賀子 鈴 木 義 祐 高 倉 好 博 滝 田 勝 彦 富 田 孝 志	永 井 隆 太 郎 岐 博 典 中 島 茂 新 井 田 大 花 井 宣 明 花 安 紀 夫 平 石 家 治 廣 瀬 敬 彦 深 谷 秀 三	福 本 隆 里 星 香 薫 星 本 文 堀 田 満 堀 川 哲 男 班 目 秀 雄 松 井 遵 一郎 松 本 裕 治	水 戸 眞 由 子 森 崎 俊 夫 結 勝 志 米 沢 修 志 渡 邊 正 仁 渡 邊 正 吉 ※他に匿名希望3名
---	--	--	--	---	---	---

(令和2年2月29日現在) (敬称略)

賛助会員加入のお願い

本協会では、本県スポーツ振興を目的とする事業に御賛同いただける賛助会員を年間を通して募集しております。

福島県民の皆様、本協会を応援いただける全国の皆様、ぜひ賛助会員として加入され、御支援を賜りますようお願いいたします。

賛助会費(年会費)

○個人賛助会員
1口 10,000円(1口以上何口でも可)
○法人・団体賛助会員
1口 10,000円(1口以上何口でも可)
※個人会員は3口以上、法人・団体会員は5口以上で特別会員となります。
詳しくは、本協会ホームページをご覧ください。
<https://www.sports-fukushima.or.jp/>

問 合 せ

〒960-8043 福島市中町8番2号
福島県自治会館6階
公益財団法人 福島県体育協会
電話 024(521)7896
FAX 024(521)7971
E-mail
info@sports-fukushima.or.jp

編 集 後 記

第75回冬季国民体育大会では、スケート競技の安田彩夏選手(少年女子スピード1500m)の5位入賞やスキー競技の菅井千穂選手(成年女子Bクロスカントリー)の4位入賞を筆頭に、延べ8種目で入賞するなど福島県選手団の気迫あふれる戦いぶりが随所に見られました。選手・監督・スタッフの皆様の頑張りに改めて敬意を表したいと思います。また、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に一人でも多くの本県関係選手が出場し、県民の皆様に元気と勇気と感動を与えるような素晴らしい活躍が見られることを楽しみにしています。本協会でも、本県関係選手のプロフィールや活躍の様子をホームページ等に掲載し、少しでも多くの県民の皆様にお伝えできるようにして参ります。加えて、オリンピック後のさらなるスポーツ振興を目指し、今後様々なスポーツ情報を提供できるよう一層の努力をして参ります。引き続き本協会事業及び賛助会に対する変わらぬ御理解と御協力をお願いいたします。

スポーツ安全保険®

対象となる事故

団体・グループ活動中の事故/往復中の事故

保険期間

令和2年4月1日午前0時から
令和3年3月31日午後12時まで



加入区分・掛金・補償額

加入 対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入 区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	入院日額 (1日目から/ 180日限度)	通院日額 (1日目から/ 30日限度)		
子ども (中学生 以下) ※特別支 援学校 高等部 の生徒 を含む	スポーツ活動 文化活動 ボランティア活動 地域活動	A1	800 円	2,000 万円	3,000 万円	4,000 円	1,500 円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人 1億円)	180万円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段: 団体活動中およびその往復中の補償額 下段: 上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450 円	2,100 万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒の 場合、保険金額はA1区分と同額	3,150 万円	5,000 円	2,000 円	対人・対物賠償 合算1事故 5億 500万円 (ただし、対人賠償は 1人 1億500万円)	
				100 万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒は 対象となりません。	150 万円	1,000 円	500 円	対人・対物賠償 合算1事故 500万円	対象外
大人 (高校生 以上)	スポーツ活動(指導・審判を含む) ※右記年齢の判断は、「令和2年4月1日」 と「掛金の支払い手続きを行う日」のい ずれか遅い日の年齢を基準とします。 ※A2区分で対象となる活動も補償され ます。	C 64歳以下	1,850 円	2,000 万円	3,000 万円	4,000 円	1,500 円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人 1億円) ⚠️ 自動車事故に よって賠償責任 を負った場合は、 補償の対象とな りません。	180万円
		B 65歳以上	1,200 円	600 万円	900 万円	1,800 円	1,000 円		
	文化活動 ボランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体員の送迎 ※スポーツ活動中の事故は補償の対象と なりません。	A2 A2区分は 65歳以上 の方も加入 できます。	800 円	2,000 万円	3,000 万円	4,000 円	1,500 円		
全年齢	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000 円	500 万円	750 万円	1,800 円	1,000 円		

年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。



公益財団法人 スポーツ安全協会 福島県支部

〒960-8043 福島市中町8-2
福島県自治会館6階

TEL 024-526-4600

電話受付時間 午前9時～12時 午後1時～5時(土、日、祝日を除く。)



保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

※インターネットからも加入受付をおこなっております。

スポーツ安全保険

検索

この広告はスポーツ安全保険の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室
TEL 03-3515-4346(平日9:00～17:00)

〈共同引受保険会社(令和2年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン日本興亜
大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIG損保